

南陽市議会だより

議会だより

2023
4月
vol.173



contents

- 新年度予算…………… 3
- 予算特別委員会…………… 4～6
- 一般質問…………… 7～11
- 各常任委員会…………… 11～13

ホームページはこちらから

南陽市議会



3月定例会

3/2～3/20

過去最大 積極的予算

新年度予算169億2,200万円

宮内公民館や市道六角町富貴田線など

承認2件

令和4年度一般会計補正予算の専決処分の承認

①補正予算第12号

- ・ 議会ICT環境整備事業 828万円
- ・ 夜間飲食店応援キャンペーン事業 973万円

②補正予算第13号

- ・ 配合飼料高騰対策緊急支援事業 1454万円
- ・ 酪農粗飼料価格高騰緊急対策事業 409万円

諮問1件

任期満了につき人権擁護委員（阿部享子氏、高橋啓子氏）を法務大臣へ推薦するにあたり意見を求めるもの。

条例・その他11件

各常任委員会に付託審議。（P11～P13参照）

令和4年度 補正予算5件

一般会計及び国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の各特別会計、下水道会計の補正を審議。
 一般会計補正予算では、出産・子育て応援事業費、小中学校の備品購入等、7950万3千円を補正した。特別会計補正予算は、各項目の年度末を控えた各事業の精査による額の確定及び財源の補正。



市道六角町富貴田線（南陽高校北側）

令和5年度 当初予算8件

一般会計、国民健康保険・財産区・育英事業・介護保険・後期高齢者医療の各特別会計、水道・下水道の各企業会計の当初予算を審議。

一般会計は、宮内公民館や市道六角町富貴田線などの建設事業や、DX※、ゼロカーボンの取組を積極的に進める事業等を計上したことにより、当初予算額は前年比6.2%増の169億2200万円を計上し、過去最大となった。また、特別会計では、前年比0.6%増の7億4238万6千円を計上した。

計27件すべてを選任、同意、承認、可決した。

一般質問

8名の議員が2日間にわたり当局の考えを質した。（P7～P11参照）

発議1件

南陽市議会の個人情報保護に関する条例の設定について（P13参照）

審査の結果、全員異議なく可決し閉会した。



※DXとは

DX(Digital Transformation / デジタルトランスフォーメーション)とは、進化したIT技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念のことです。

定置式凍結防止剤 散布装置整備事業

2,750万円

現在、整備している市道蒲生田関口線の開通に合わせ、冬季間閉鎖している市道上野新田線外1路線の通年通行に向け、定置式凍結防止剤散布装置を設置し、冬季間における道路交通の安全を確保するため、整備するもの。



多面的機能支払交付金

8,651万円

農業の多面的機能を維持・発揮するための地域の共同活動、地域資源の維持管理・長寿命化を支援し、保全管理の推進で、担い手の農地集積及び構造改革を後押しするもの。

(令和5年度の南陽市の活動組織 22組織)

社会教育施設LED化推進事業

1,609万円

地球温暖化対策推進のため、公民館等社会教育施設の照明設備LED化を年次的に進めるもので令和5年度は4施設を予定。また再生可能エネルギーによる電力購入額を予算化。

子育て支援医療給付

1億3,480万円

県の制度も活用しながら、県内医療機関等での外来受診・入院に係る自己負担額を給付することで、0歳から高校生年齢相当までの医療費の無料化を行う事業。

一般会計

当初予算の主なもの

南陽市自分ごと化会議

372万円

地域の課題を議論するため無作為に抽出した市民による会議を開催する。会議を通じて市の取組への理解を深め、自分も何かしようという「自分ごと化」(主体的な行動)について考え、今後のまちづくりの提案を行う。

市民課窓口のデジタル化

5,247万円

市役所に行く前に窓口での各種手続きをインターネットで予約できる「事前申請システム」や市役所窓口での申請を電子化し、書類を書かなくても済む「書かない窓口」の導入。



宮内地区交流センター整備工事等

5億9,050万円

宮内公民館建替えのため4年度実施設計を行い、本年度建築工事に着手するもの。蔵楽敷地を拡張し木造平屋建998.8㎡ほかを整備、地区交流拠点として6年度中の完成を目指す。



ホールの完成予想図

予算



歳入

予算の概要

◎令和5年度予算を一言で言えば。

▲市道六角町富貴田線、上野新田線、宮内公民館など長年の懸案事項に着手し、将来的な発展の土台を作る「土台づくり予算」だ。

ふるさと納税

◎寒河江市の不適切事案で厳しい状況が予想される。4年度同等の予算確保は大丈夫か。

▲寒河江市のふるさと納税事業者で不適切事案があったことは大変遺憾だ。同様の事例が

ないか調査したが本市ではそうした事例はなかった。

これに伴い、今後予算確保が厳しくなると予想するが、ふるさと納税の予算の仕組みは、翌々年度に予算化するもので、実際の影響は少ないと考えている。今後とも収入増に努めていく。

歳出



地域おこし インターン活用

◎地域公共交通検証・研究事業費とは。

▲おきタクを運営する沖郷地区の地域住民に満足度調査を含めた運行状況を検証する。地域おこし協力隊のインターン事業を活用して学生を募集し調査を進

職員の人員配置

◎5年度は正職員254名、会計年度任用職員（臨時職員）142名で各々3名の6名減になるが過去最大規模の予算執行に対応は可能か。また、正職員と臨時職員の構成は適正か。

▲総数は減少しているが事務職員は現状維持。定年延長に伴う働き方も加味しながら新規採用ゼロは極力控えたい。また、会計年度任用職員の配置は業務形態により大幅に変わるため、単純比較はできない。

廃止浴場等の 跡地利用

◎あずま湯、とわの湯、いこいの家の跡地は。
▲解体または建物が活用できるか検討するため、今回の予算では資

産価値積算の委託料を計上している。



旧いこいの家

ひきこもり支援

◎若者のひきこもりの受け皿が必要。

また、市民の理解と、啓発活動も大切。

▲5年度予算では自宅以外でも安心して過ごすことができる居場所づくりを進める。

相談から始まり一歩一歩進めることで、市民の理解も広まると期待している。
◎神奈川県大和市ではイラストや漫画形式でわかりやすいパンフレットを作っている。

参考にしてもらいたい。

子どもの居場所

◎子供の居場所運営の委託先は。

▲NPO法人置賜ひまわり会を想定している。



みんなの居場所「にじ」(宮内桐町)

太陽光発電の 普及啓蒙

◎100万円の予算では少ない。

▲少額だが、設置費用を少しでも抑えられるように考えている。

◎市民への啓蒙は。

▲太陽光パネルは、地球温暖化対策に有効な

手段だ。補助を受けた方の声を聞きながら広報を行なっていく。

◎令和2年12月にゼロカーボンシティ宣言をしたが認知度は約70.5%、再生可能エネルギーの推進も不支持が75%だ。市民意識の向上のためにも、計画をより実効性のあるものにするべきだ。



地域協力隊の 移住定住

◎本市の地域協力隊員の総数と定住者数は。

▲4年度まで11名で、現在定住は1名。

◎生活していけるかどうかが第一義だが、行政と地域のサポートは。

◎地域のサポートも大事だが、この3年間はコロナの特殊な事情があった。

◎今後ポストコロナで地域おこし協力隊と地域の絆もより強く繋がっていきたい。

◎地域協力隊員、地域産業と本市が三方良しになることが理想だ。それには地域協力隊員ともっと近い関係が必要で行政と議会側で場の提供が必要となる。

◎同感。新春なんようなど様々な機会を設けているが、より一層機会を作り対応していく。

◎協力隊員は農林課だけでなく、まちづくり、教育など様々な分野があると思う。もっと門戸を広げるべきだ。

観光協会の事務所

◎商工会館の2階にあるが、目立たない。

◎観光を推進するエンジンとして、もっとわかりやすいような場所にあるべきではないか。

◎観光協会からは静かに戦略を練れる場所を要望された経緯がある。

◎業務の見える化も観光協会の使命であるため観光協会に伝える。

株四季南陽の進捗

◎代表の交通違反報道もあり、世間では様々な心配がされている。

◎今秋のリニューアルオープン予定に変更はないと思う。

◎公表できる状況になれば議員、市民の皆様

◎温泉施設は存続すると市長は言ったが、市民への変更の説明は。

◎株四季南陽側と確認しながらしっかり考えて、対応する。



◎民設民営の選択肢もある。様々な方との連携を通じ希望がかなえられるよう努力する。

チャットGPTの活用

◎近年開発されたチャットGPTは衝撃的な生成AIだが教育現場ではどう使うか。

◎チャットGPTはまだ研究も実践も進んでいない。本市は1人1台タブレットを導入し軌道に乗ってきた状況。

◎デジタル機器はあくまでツールとしての活用とし、主導権が機械に奪われないように今後も研究していく。

ChatGPT(チャットジーピーティー)入力した質問に対して、まるで人間のよう自然な対話形式でAI(人工知能)が答えるチャットサービス。日本語にも対応している。

LINEでの情報発信

◎除雪の出動状況を発信できないか。

◎位置情報などの詳細情報の発信は技術的なハードルが高いが、出動の有無など出来ることから対応を検討する。



生活困窮者への食材提供

◎農家で、作りすぎて廃棄せざる得ない野菜

◎徳島市では、配達業務を行う民間企業への協力依頼や、市職員が福祉サービス等で訪問した場合に、安否の確認を行う見守りサービスを予算ゼロで展開し大きな成果を上げている。



独居高齢者の見守り

◎本市でも同様の施策を行えないか。

◎組織的な見守りサービスは現在行っていないが、個別で包括支援センターに連絡いただき危険を免れた事例

が何件かあった。
効果的に行われている施策であれば参考に
していく。

中沢林道

◎整備の進展が遅い。
河川工事はしているよ
うだが、災害再発の危
険性がある。



災害時の状況

▲林道復旧の前に、川
の勾配を安定させる治
山事業を優先した県営
事業が実施されており、
崩壊の可能性は少ない。
今後、工事用道路の
一部を中沢林道に引き

継いで管理するなど、
中長期的な計画で取り
組むよう検討を進めて
いる。

上野新田線

◎蒲生田関口線の開通
に合わせて通年通行と
なる。白竜湖がど真ん
中に見え、鳥上坂の通
行車両と新幹線を真上
から眺望する駐車帯に、
展望台整備の考えは。
▲施工的に難しい面も
あるが、今後、道路を
拡張できる可能性を含
め検討していきたい。



米粉の消費拡大

◎県では、食物繊維か
らビタミン類、抗酸化
物質や血糖上昇を抑制
するなど豊富で高い機
能性を持っている米粉
の消費拡大を目指して
いる。

本市の学校給食での
米粉の利用促進状況と
取り組みは。



▲学校給食栄養摂取基
準に基づく献立にする
必要があり、その中に
米粉を重点的に組み込
むことができるか引き
続き研究する。

また、農林課では、

県の補助による地産地
消推進事業費で、地元
食材を積極的に活用す
るよう学校に支援し
ている。

地籍調査事業

◎現状と今後は。

▲3年間で一つの調査
完了サイクルで実施。

5年度は宮内の清水
町、六角町、横町、吉
野町などで行い、併せ
て6年度予定の東町地
区の準備図策定も行う。
年度末の進捗は市全
体の6.7%。



扶助費の状況

◎4年度に比べ1割以
上減額になっている。
今後リーマンシヨツ

ク以上の大恐慌到来の
見立てもある中で、本
市の生活保護の現況は。

▲コロナ禍では、事前
段階での支援が国の方
でも行われたことで、
2月末の生活保護世帯
は133世帯、150人では
横ばい。

置賜管内での本市の
生活保護率は低い方だ
が、増額が必要な状況
になれば補正予算など
で適切に対応する。

コロナワクチン

◎国では8.8億回分を仕
入れ3.8億回分は使用し
たが5億回（1兆40
00億円）分のワクチ
ンが余っているという。
本市の状況は。

▲本市にはこれまで9

万回分の従来株ワクチ
ンが届いており、その
うち使用期限切れで約
5700回分を破棄し
た。

◎山形、秋田両県の児
童のように、接種率が
高いほど感染率が高い
という調査結果もある。
今後の方針は。

▲現在は落ち着いた状
況だが、今後も国から
の情報をもとに進める。
税金が無駄にならない
よう、今後も接種率
を上げていく。

◎方針転換の必要を感
じた場合には、ためら
うことのない決断を要
望する。



鋭く迫る! 一般質問

一般質問とは

議員が、市政全般にわたり考え方や方針を市当局に質問することです。一人50分の持ち時間で「壇上質問 → 市長・教育長等の答弁 → 再質問」を行います。3月定例会では、3月9日と10日に8人の議員が質問を行いました。※質問の内容を要約して掲載します。※議会ホームページで録画映像を配信しておりますのでご覧ください。会議録は、6月に公開予定です。

映像配信はこちらから



- | | | |
|---|---------------|------------------------|
| 1 | 山口 裕昭 (倫政会) | コロナ禍からの復興／豪雨災害への備え |
| 2 | 島津善衛門 (保友クラブ) | マイナンバーカード／部活動の地域移行 |
| 3 | 片平 志朗 (真政会) | 白竜湖の環境保全と消滅を防ぐには |
| 4 | 板垣致江子 (真政会) | 魅力ある物産会館の建設を求める |
| 5 | 山口 正雄 (政風会) | どうする？ 部活動の地域移行 |
| 6 | 佐藤 明 (無会派) | コロナ「2類」から「5類」への変更は負担増に |
| 7 | 高橋 一郎 (真政会) | デマンド型タクシーの導入を! |
| 8 | 高岡 亮一 (無会派) | 戦没者慰霊の今後／ワクチン接種、今後の方針 |

() は3月定例会時の会派



山口 裕昭 議員

コロナ禍からの復興と豪雨対策

コロナ禍からの復興

◎市主催のイベント開催状況は。

△市長 コロナ禍の3年間中止や規模を縮小した開催が続いたが、4年度はワインフェスティバル以外通常開催となっている。なお、5年度からはすべてのイベントを通常開催とする方向で検討中だ。

◎地域主導のイベントの状況は。

△市長 この3年間多くのイベントが中止となっている。アフターコロナに向けた地域イベントの新たな在り方について市民の皆さんと共に考えていきたい。

◎コロナ禍の3年間で停滞したことを契機と

とらえ、ピンチをチャンスに変える発想で新たなイベントなどの開催をお願いしたい。

頻発する豪雨災害への備えについて

◎吉野川、織機川の河川改修が進んだ一方、下流域の改修は道半ばだが県への働きかけは。

△市長 南陽市重要要望事業として、県の「置賜圏域河川整備計画」に基づき事業計画の促進を要望している。

◎以前から要望している上無川周辺の治水対策は進んでいるのか。

△市長 県に要望し流下能力向上のため浚渫と支障木の伐採を行っていただいている。

◎上無川周辺の住民は

豪雨のたびに不安な夜を過ごしている。市民の安全安心な暮らしを守るため一層の努力を続けて頂きたい。

◎旧国道13号東側の内水氾濫への備えは。

△市長 大橋堰で4年度から県による揚水機場

工事が行われており、今後計画されている河道掘削で、横堀排水路の水位が下がり市街地への浸水被害が軽減されると期待している。





島津 善衛門 議員

市民目線の説明責任を

マイナンバーカードの普及と活用促進

◎なぜマイナンバーカードが必要なのかを明確に私たち市民に示していない。

使いは私たちが納得するものに限定し、それ以外には使わせない、そして濫用を防止できる仕組みと法律をしっかりと作り、正當に運用するべき。

市民目線の丁寧な説明が必要では。

〈市長〉マイナンバー制度は、行政の効率化、国民の利便性の向上、公平・公正な社会の実現のための社会基盤であり、デジタル技術を用いた行政の効率化にはマイナンバーカード

の普及がカギになる。

普及するには、カード取得のメリットを実感していただくことも重要だが、個人情報の保護や管理の仕方、マイナンバーカードの安全性への心理的な不安を払拭することが大切と考える。

新年度からは、コンビニでの証明書交付や、自宅で証明書がとれるサービスの拡充や、市役所での時間を減らす「書かない窓口」などのDXを導入する。

中学校の運動部活動の地域移行

◎山形県は検討委員会などでガイドライン案を示した。休日だけでなく平日移行も考えられ

る中、教育的指導をどのように考えているのか理解に苦しむ内容だ。

本市の教育の未来を担う教育長としての見解は。

〈教育長〉前例のない取り組みであり、現在、あらゆる視点から課題を検討、整理している。協議の中心に生徒を据えることを何よりも大切に、生徒が休日に地域でいきいきと活動できる環境づくりに努める。



片平 志朗 議員

白竜湖の環境保全と消滅を防ぐには！

◎平成30年の白竜湖の調査報告書によれば、

土砂の流入により水深が年々浅くなり、今世紀中にも消滅していくと指摘された。

その後、検討会や協議会等は開催しているか。

〈市長〉報告書を受けて、庁内の関係各課で構成する「白竜湖整備検討会」を組織し、湖面の維持確保の対応を毎年協議している。

◎各関係団体、有識者が集い、今後の方策を検討するためサミットを開催したかどうか。

〈市長〉現時点ではサミットの開催は計画していないが、関係機関や各種団体、有識者との連携を図っている。市民団体の「白竜湖の自然を守る会」や「南陽カヌー・カヤッククラブ」などが、白竜湖保全の機運を高める機会として、環境整備や保全活動、研修会

令和2年度以降においてヒシが繁茂しない理由が分かっておらず、

今後水質改善等の効果が続くのか不明であるので、必要に応じて対策や調査等を実施していく。

等を継続して開催している。

今後とも各団体の取り組みを支援しながら、地域の宝である白竜湖を守り、後世に伝えていく。



今世紀中に消滅の指摘を受けた「白竜湖」



板垣 致江子 議員

魅力ある「物産館」がほしい

魅力ある物産館

◎以前から要望している「市民が頑張ってる産・製造している魅力ある物産を一堂で販売できる場所」がない。

本市に求められる物産館が今こそ必要と考えるが、**〈市長〉**物産館は物産の販売や観光をはじめ、様々な情報発信には有益な施設と捉えているが、行政での経営は採算のリスクが大きいと判断している。

今後、関係団体と情報交換を行いながら民間事業者による整備計画など協力していく。◎道の駅的な物産館がないのは本市だけ。観光に来られる方の楽しみは買い物にもある。また、生産者も市民も物産館を期待している。

画などに協力していく。◎道の駅的な物産館がないのは本市だけ。観光に来られる方の楽しみは買い物にもある。また、生産者も市民も物産館を期待している。



刀工 水心子正秀

◎烏帽子山八幡宮に顕彰碑のある「刀工 水心子正秀」は「刀剣乱舞」のゲームやアニメに登場し関心を持たれている。観光面での取り組みは。

〈市長〉水心子正秀の活用は本市を訪れるきっかけになる。情報を収集しPR等について研究していく。

集しPR等について研究していく。

「親なき後」

◎障害ある方の「親なき後」を見据えての地域生活支援拠点の整備はどの様な仕組みか。

〈市長〉国の第6期障害福祉計画では令和5年度末までに確保することが基本方針。

本市では既存の事業所等が提供可能な機能をつなぐ「面的整備型」を目指す。当事者や不安を抱く家族のニーズが高い「相談」と「緊急時の受け入れ」の2つの機能の整備を優先し「体験の機会・場の提供」と併せて、相談支援や短期入所の事業所と協議していく。



山口 正雄 議員

どうする部活の地域移行

◎地域移行の基本的考え方は。

〈教育長〉生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会を確保し、一層望ましい成長を保障することが重要。生徒、保護者、関係団体に早く委員会の方針を伝えられるよう準備する。

◎移行の仕方は。

〈教育長〉学校単位や三校合同の枠組みなど柔軟に対応していく。

◎進める主体は。

〈教育長〉教育委員会を中心とし市当局、関係団体と連携していく。

◎移行後の位置づけは。

〈学校教育課長〉社会教育の一環としての地域スポーツ・文化芸術活動となる。

◎休養日、練習時間、

試験日前の3日間活動休止などの市の部活動方針は移行後どうなる。

〈教育長〉地域指導者と共通認識をはかり、生徒の負担にならないように配慮していく。

◎生徒移動時のスワールバス運行は。

〈管理課長〉位置づけが変わっていくので今後の検討課題だ。

◎指導者報酬は保護者負担になるのか。

〈学校教育課長〉保険料等の受益者負担の発生が想定される。指導者報酬について国、県の補助が示されていない段階だ。

◎保護者負担になれば、

部員数で負担が大きくなる。家庭格差が生まれない運営をすべきでは。

〈教育長〉そういう配慮が必要と考えている。

◎移行に伴う保護者負担増に対しての市の支援の考えは。

〈市長〉行政間の格差が生じないような国としての財政措置を希望している。

◎パワハラ等があった場合、委員会の関りは。

〈学校教育課長〉地域クラブが社会教育団体として登録すれば必要な指導を行なう。





佐藤 明 議員

コロナ「2類」から「5類」への変更は負担増に

◎岸田政権は新型コロナ

ナウイルスの感染症法上の位置付けを今春に季節性インフルエンザと同等の「5類」に引き下げると表明した。

政府のコロナ対策専門家は

有志はコロナのオミクロン株の感染力は季節性インフルより遥かに高いと警告している。

高齢者を中心に死者数が増加しているのは感染力の高さが要因だとされている。コロナ感染が広がって

から3年、3人の首相のもとで国民の命と暮らしは危機にさらされてきた。

感染症から国民を守る政治への転換が求められている。コロナ「2類」から「5類」の移行について白岩市政

の認識と見解は。

〈市長〉感染拡大から約3年が経過し、市民の皆さんには外出自粛な

ど我慢の時期を過ごしていたいただき、ようやく感染の第8波を乗り越え、ポストコロナへの希望が高まってきている状況である。

変異株の発生も予想される中、5類感染症への移行はより慎重な対応が必要と認識している。

◎今後の対応は。

〈市長〉国においては5類感染症へ移行されたとしても引き続き財政措置の継続、国民への適切な情報提供、新たな変異株等への備えをしっかりと果たしていただきたいと願っている。

◎マスク着用を大幅に緩和する新指針が提案

されているが、市の対応は。

〈市長〉基本的にはマスク着用は職員個人の判断となるが、高齢の方など重症化リスクの高い方がお越しの際や窓口が混雑する場合など、周囲に感染を広げないよう、状況に応じて対応していく。



高橋 一郎 議員

高島町のようなデマンド型タクシーの導入を！

◎一人世帯の高齢者に

限らず高齢者の移動手段の確保は喫緊の課題。自家用車運転免許証を返納したいがタク

シー代を考えると躊躇するという声が多く聞かれる。また、現行の地域公共交通の利用状況や利用できていない地域などの現状を鑑み、市民ファーストの観点

から以下を踏まえて転換する時期と考えるが。①現行バス3路線の利用状況及び満足度は。

〈市長〉令和3年度の北部地区連絡バス（以下地区名）の年間乗車人数（以下人数）は7896人。中川地区は4125人。西部地区は4457人。満足度調査はしていないが、各

路線の協議会で利用者の声を反映している。

フリー区間の設定やバス停の新設、名称変更を実施した。

②現行「おきタク」の利用状況及び満足度は。〈市長〉令和3年度人数は2559人、今年度は5年1月末時点で2899人。「おきタクの利用により外出が増えた」などの好意的な声が多数あった。

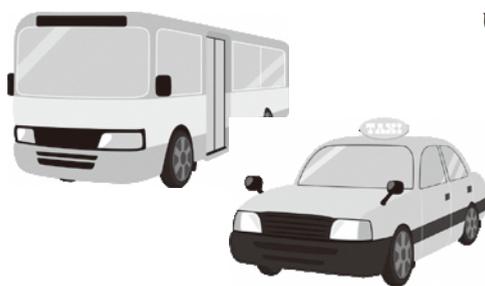
一方で、前日予約の緩和や乗降場所の追加等の意見もあり、改善を図っていると聞いている。

③3路線バスとおきタクの本市の支出額は。〈市長〉令和4年度予算額で3路線の合計は2285万5千円、おき

タクは300万円。

④3路線バスを見直し、おきタクもオンデマンド型タクシーに。

〈市長〉市内全域でドアツードアの便利な公共交通を導入するには、持続可能であるか、バスやタクシー事業者の理解や協力を得るかなど課題がある。各地区の特性や交通事情にあったものを検討していく。





高岡 亮一 議員

戦没者慰霊の今後とこれからのワクチン接種方針

◎岸田政権は防衛費GDP比2%と国民の基本的人権を否定する

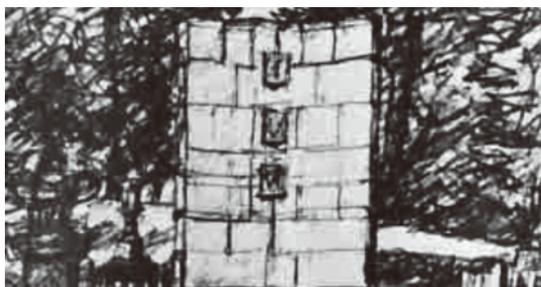
「緊急事態条項」導入に向けて舵を切り、310万人の尊い犠牲による「平和国家日本」が根底から揺らいでいる。

戦争の悲惨さ辛さは、何よりもその肉親の記憶に深く刻まれて伝えられてきたが、遺族会、戦没者慰霊の現状は。

◎「死者の慰霊」は「政教分離」に抵触しないかと考えていいか。
◎昨年亡くなった人は158万2千人で、前年より8.9%、13万人も多い。ある週刊誌には「政

府・新聞・テレビがひた隠す「ワクチン」と「超過死亡」の因果関係の

◎遺族会解散の地区も出ている。今後、市が主体の公的行事として永続して取組んでいくための問題提起とする。



府・新聞・テレビがひた隠す「ワクチン」と「超過死亡」の因果関係の

府・新聞・テレビがひた隠す「ワクチン」と「超過死亡」の因果関係の
◎問違いと気づいたらいつでも改めて、その時々最善の道を選んでほしい。

また、国家予算でワクチン購入代金2.4兆円、接種費用2.3兆円。うちワクチン1.4兆円分が未使用の現状という。ワクチン接種についての今後の方針は。

◎問違いと気づいたらいつでも改めて、その時々最善の道を選んでほしい。

また、国家予算でワクチン購入代金2.4兆円、接種費用2.3兆円。うちワクチン1.4兆円分が未使用の現状という。ワクチン接種についての今後の方針は。

総務委員会

3月3日

審査報告

付託議案6件

◆個人情報保護に関する条例の設定

個人情報保護法の一部改正に伴い、必要な事項を定めるため新たな条例を設定するもの。

①情報開示請求に関する手数料は無料とし、写しの交付は実費とする。

②開示決定の期限は請求から14日以内とし、困難な場合は16日以内の延長を可能とする。

③個人情報取扱いにつき意見を聞く場合「情報公開・個人情報保護審査会」に諮問できる。

④実施状況の公表は現行条例と同様とし、従前の3つの条例は廃止または一部改正とする。

◆職員の高齢者部分休業に関する条例の設定
地方公務員法の規定に基づき高齢者部分休

業制度の導入に必要な事項を定めるもの。

◆企業版ふるさと納税基金条例の設定
寄附金を地域再生法に規定する「まち、ひと、しごと創生寄附活用事業」の財源に充てるため、基金を設置するもの。

◆赤湯財産区温泉条例の一部改正
(有)丹泉ホテルの温泉受給者の名義を変更するもの。

◆文化会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正
開館時間及び休館日を規則に委任するもの。

◆置賜広域事務組合規約の一部変更
4年度で期間満了する「ふるさと市町村圏計画」の次期計画を策定しないため、規定の一部を変更するもの。

以上、審査の結果全員異議なく可決した。
(委員長 山口裕昭)

文教厚生 常任委員会

3月6日

審査報告

付託議案4件

◆南陽市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

◆南陽市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

◆南陽市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

以上の3議案は、関連があることから一括審査。いずれの議案も条例のもととなる子育て支援関係施設の設備や事業運営の国の基準が一部改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

子育て支援等の施策の主務官庁が厚生労働省から内閣府に変わる



以上、審査の結果、全員異議なく可決した。

- 妊娠期から子育て期の相談
- 子育て応援（紙おむつ等育児用品支給）
- 児童福祉施設への物価高騰対策事業
- 保育士等支援金給付事業
- 中学校給食の無償化
- 児童虐待防止事業



ことを反映するための改正、懲戒権関係規定の削除、安全計画策定などに関する規定を新たに追加するものであるとの説明を受けた。

◆南陽市国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の額を見直し、令和5年4月から8万円増額され、48万8千円に改めるものであるとの説明を受けた。

行政視察レポート

◆神奈川県三浦市「子育て支援施策」

三浦市は三方海に囲まれ三浦半島の最南端に位置し、農業・水産、観光が中心で、人口は4万1千人弱。

超高齢化・超少子化社会の中で、この自治体でも少子化対策が喫緊の課題であるが妊娠・出産・子育て・教育まで、伴走型の施策を展開している子育て支援施策を視察した。

- SNSを活用した情報発信
- 以上7項目を展開しており、今後充実させるべき施策として、
- 子どもの遊び場の確保
- 療育事業の充実・病児・病後児保育事業の実施
- ファミリーサポートセンター事業の充実
- 妊娠婦への支援
- 児童虐待防止への取組

新たな子育て支援策の創設等を掲げている。

◆神奈川県大和市「こもりびと支援条例（ひきこもり支援施策）」
大和市は神奈川県ほぼ中央に位置し、都心から40km圏内にあり首都圏のベッドタウンで、人口は24万3千人。「ひきこもり」は近年、中高年を含む幅広い年代にもみられ社会問題となっている。
同市ではひきこもり状態の人を「こもりびと」と称し、市民の理解を得るとともに、一人一人の状況やその家族の気持ちに寄り添い、関係機関の協力を得、将来にわたり必要な支援を行うため、平成4年9月に「こもりびと支援条例」を制定し、「こもりびと支援ハンドブック」を作成するなど温かみのある施策を展開している。
(委員長 片平志朗)

《指定管理》勤労者総合福祉センター 「(株)エービーエム」 期間1年

産業建設 常任委員会

3月7日

審査報告

付託議案1件

◆南陽市勤労者総合福祉センターの指定管理者の指定

・指定管理者

(株)エービーエム

当局より、宮内公民館の新築による地区公共施設の機能再編を考慮し、指定期間をこれまでの3年間で1年間とし、公募によらず指定したいとの詳細説明があり、委員より機能再編の在り方等について質疑がなされた。

以上、審査の結果、全員異議なく可決した。



行政報告

各課報告は次のとおり。

〈農林課〉

●5年度主食用米の「生産の目安」算定内容

度

●5年度「とも補償制度」内容

●漆山地区農地整備事業の5年度整備内容

〈商工観光課〉

●企業動向調査（売上・収益・雇用）の分析

析

●米沢管内の雇用情勢・求人求職状況

●ふるさと納税実績

〈建設課〉

●主要事業の進捗状況（上下水道課）

●主要事業の進捗状況（農業委員会）

●農地の移動・転用状況

況

(委員長 島津善衛門)

議員発議

南陽市議会の個人情報保護に関する条例の設定

これまで本市議会が保有する個人情報

は市当局の条例に基づき適正に管理されていたが、「個人情報保護に関する法律」の改正により、地方議会は、国会と同様、自律的な対応

のもと個人情報の適切な取扱いが図られることが望ましいとされた。

これを踏まえ、本市議会においても個人情報

の適正な取扱いに関する必要な事項を定めるとともに、議会が保有する個人情報

の開示、訂正及び利用停止を求める個人の権利を明らかにすることにより、

議会の事務の適正かつ円滑な運営を図りつつ

個人の権利利益を保護するため、新たに条例を設定するもの。

審査の結果、全員異議なく可決した。



い等に関する共通ルールが設定された。

地方議会は、これを踏まえ、改正後の個人情報保護法の第5章の規定を参考に、次項に留意し、議会独自の個人情報保護条例の制定を進める必要がある。

①条例の施行期日は、改正後の個人情報保護法の施行期日である令和5年4月1日とすること。

②個人情報の対象としては、基本的には議会事務局が保有する個人情報

を想定し、各議員が取得する個人情報は対象としないこと。

③職員（又は委託を受けた事業者等）が正当な理由なく個人情報

ファイル等を提供した場合等の罰則（上限2年以下の懲役又は100万円以下の罰金）を設けること。

解説

個人情報を取り扱う主体ごとに分かれていた個人情報保護法

は、令和3年5月に公布された「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」により、個人

情報保護法に統合され、大学・病院等を含む民間事業者、国の行政機

関、地方公共団体の機関（議会を除く）等における個人情報の取扱

に関する事項を定めることにより、

議会の事務の適正かつ円滑な運営を図りつつ

発掘「南陽の歴史」④ 漆山地区

鷹山公改革の最前線 郷村出役 北村孫四郎

上杉鷹山公による藩政改革の時代、農村の現場で農民指導にあたる「郷村教導出役」という役が設けられていました。

領内は12の区域に分けられ、現在の南陽市にあたる「北条郷」の出役を、文化元（1804）年2月から文化4年2月まで勤めたのが北村孫四郎信精でした。

北村は天明元（1782）年に家督を相続、馬廻り組に属していました。出役任命前漆山村に10年間滞在しており、百姓の仕事も渡世もここで覚えたと記しています。

北村は、出役任命後も漆山村を拠点に管轄下を馬で駆け巡り、精力的に農村指導にあたりました。詳細な「日記」十数冊が米沢市立図書館に保存されており、北条郷出役時代の3年分は、『南陽市

史編集資料』第45、47号で読むことができます。



さらに、農村指導の経験をもとに、農作業の段取りなどを記した農民のための手引書を作成しました。それが『北条郷寒造之弁』です。

「寒造り」とは、夏になっても味も香りも変わらない大寒の時期に仕込む酒のことです。「春の陽差しに気が緩む頃あわててももう遅い。百姓もまた意志を強くして、冬の間には翌年の農作業の計画を練り上げておかなければならない。」と説きます。「農民は、本年の寒中には心を入れかえて、翌年こそはふらふらせず

に仕事に精を出し、節約

に心がけて安定した暮らしをしたいと願うことである。」とまえがきに記しています。

『北条郷寒造之弁』は、『日本農書全集』全72巻の第18巻に、同じく米沢藩の郷村出役今成吉四郎の『農事常語』と共に集録され、鷹山公改革の現場での奮闘が今に伝えられています。

鷹山公が「明君」であった背景には、公自身の気質と努力もさることながら、貧を窮めた米沢藩を何とか立て直さねばならないと立ち上がった優秀な家臣たちがいたのです。

なお、北村孫四郎が漆山村のどこに居を構えていたかは明らかではありません。今後の説明が待たれます。



表紙説明

学校紹介

vol.4

表紙写真は梨郷小学校です。

上段は、平成15年に創立130年を迎えた時の小学校・中学校舎の全景を撮ったもので、当時の児童数は106名、令和5年度現在44名が在校。

中段の写真は、昭和48年に創立100年を迎え、これを祝って鼓笛隊パレードが沿道に繰り出した一コマで、生き生きとした児童の様子が映し出されている。

下段の写真は、恒例の龍樹山トレッキングの模様で、山頂から令和5年度供用開始予定の国道113号梨郷道路が一望でき、梨郷地区も大きく様変わりしている。



収穫祭の様子



編集後記

ようやくコロナ禍も束の方向に向かい、息苦しく不自由なマスク生活からも解放されました。

当初「大雪か！」と心配された冬も、思いのほか早い春の訪れに心軽やかです。

しかし世情はといえば、政治、経済、国際情勢、それぞれかつてなく緊迫の度を増しています。

こういう時ほど足元をしっかりと見つめ、何が大事かを確かめながら日々を過ごしていきたいものです。

(高岡 亮二)

- 委員長 伊藤 英司
- 副委員長 山口 裕昭
- 委員 佐藤 憲一
- 島津善衛門

- 高岡 亮一
- 高橋 一郎